



学校だより

川越市立山田中学校

令和4年8月30日 発行

学校教育目標『人を尊び 本気で学び たくましく』

～ふるさと川越山田に自信と誇りを持てる生徒の育成～

実りある2学期に

校長 守岡 信一

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、山田中学校の生徒はたくましく成長しています。今後も感染拡大防止対策の徹底に努めながら、教育活動を進めてまいります。保護者・地域の皆様には引き続き、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。始業式では、生徒達に次のような話をしました。

みなさんにとって「学校」とは、どんな場所でしょうか。また、どんな場所であってほしいでしょうか。私の尊敬するある先生が、この質問をととてもわかりやすい言葉で答えていました。そのお話が、とても印象に残っているので、今日は、そのお話をします。その先生は、3つのことを話していました。

一つめは、「学校は、わからないことがわかるようになる場所」です。この代表は、何と言っても授業です。様々な教科の授業で勉強をすることで、皆さんは、小学校の1年生の頃から、たくさんの方がわかるようになったはずです。将来、自分の夢や希望を叶えたり、社会の一員として自立したりするために、知らなければならないこと、知っておいたほうがよいことが、私たちにはたくさんあります。そのために、私たちは学校で学んでいます。

二つめは、「学校は、できないことができるようになる場所」です。一つめの「わからないことがわかる」が知識だとすると、二つめの「できないことができるようになる」は、技能といってもよいでしょう。これは、授業に加えて、部活動などでの学びも、その代表ではないかと思います。例えば、今までにやったことがなかった部活動に入部して、試合ができるようになるまで成長したり、まったく体験したことのない人が、引退するときには、歌や絵で上手に自分の表現ができるようになったりすることは、素晴らしいことだと思います。このような意味でも、やはり学校は学びの場だと思います。

最後は、「一人でやっても面白くないことが、皆でやると楽しい場所」です。これは、集団生活の価値、特に、学校行事のことを意味しているのだと思います。今日から始まった2学期以降には、たくさん行事が予定されています。例えば、合唱祭や3年生の皆さんの修学旅行、1、2年生の校外学習などです。学校行事の思い出は、卒業後も、あるいは、大人になってからも、忘れられない思い出になったりします。それは、一人でやるのではなく、仲間と競い合い、最後には互いの健闘を讃え合えること、本気で仲間と協力することが、私たち人間にとって、とても楽しく、価値のあることだからだと思います。

この2学期以降も、新型コロナウイルス感染症は決して油断はできませんが、感染症対策に学校全体で取り組み、安全な環境づくりに努める中で、学校行事を進めていきましょう。みなさんが、この山田中学校で、大いに学び、仲間と大いに競い合い、協力する中で、充実した2学期を送ることができるように、先生方もみなさんのことを全力で応援していきます。

みなさんが本気で学び、行事や部活動で活躍している姿、輝いている姿を心から楽しみにしています。